



2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2025年2月7日

1. 2025年3月期 第3四半期連結決算	3
2. セグメント概況	7
3. 2025年3月期 業績予想	14
4. トピックス	15
5. Appendix	18

売上高

1,017 億円

前年同期比

+19.5%

営業利益

113 億円

前年同期比

+38.8%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

92 億円

前年同期比

+47.3%

売上高

- パリで開催された国際的なスポーツの祭典やその他の国際大会の開催と、大会での選手の活躍によりスポーツ市場が盛り上がる
- 当社は各地域で大会の話題を活かしてさらに競技のファンを増やすための活動に注力し、各種目で当社製品への注目も高まる
- 中国では代表チームの活躍もあり引き続きバドミントン用品の販売が増加し、連結売上高の成長を牽引
- 海外では円安に伴う為替換算の上押し効果もあり、3Q累計として過去最高売上高を計上

営業利益

- 特に3Qに国際大会の話題を活かしたマーケティングを強化し広告宣伝費が増加。さらにグローバルIT強化に伴うシステム関連費用、人件費、減価償却費等も増加
- 増収と粗利率改善による粗利増加の影響が大きく増益。3Q累計として過去最高営業利益を計上

一 連結業績

(百万円)

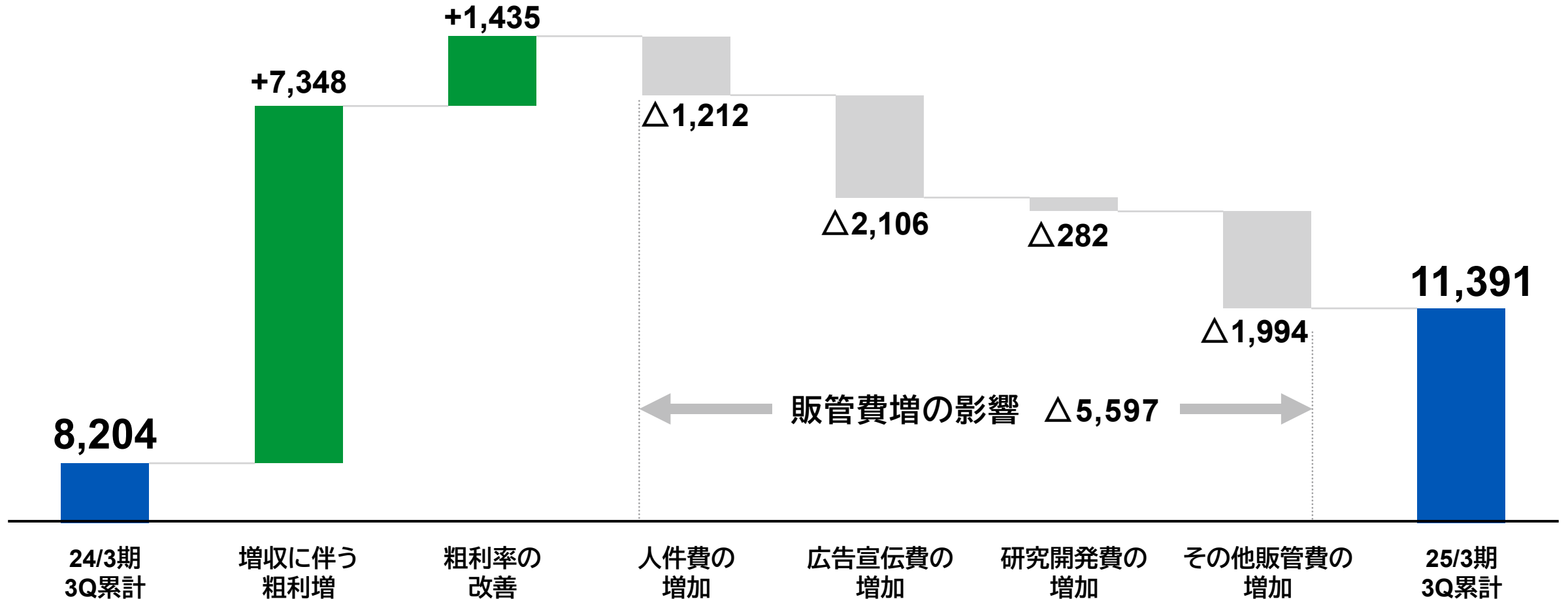
	2024年3月期 3Q累計実績	2025年3月期 3Q累計		増減率 (増減額)	2025年3月期 通期予想*
		実績	売上比		
売上高	85,172	101,758	—	+19.5% (+16,586)	134,000
売上総利益	37,738	46,522	45.7%	+23.3% (+8,784)	—
販管費	29,533	35,131	34.5%	+19.0% (+5,597)	—
営業利益	8,204	11,391	11.2%	+38.8% (+3,186)	13,100
経常利益	8,583	11,446	11.2%	+33.4% (+2,863)	13,100
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,279	9,249	9.1%	+47.3% (+2,970)	10,000
1株当たり四半期純利益	72.63円	107.14円	—	+34.51円	115.58円

※ 2024年11月8日修正値

一 連結営業利益 増減分析

増収に加え、粗利率の改善も寄与し粗利が増加。販管費は国際大会での選手活躍を活かしたマーケティング強化による広告宣伝費の増加や、システム関連費用、人件費、減価償却費が増加

(百万円)



一 連結貸借対照表

有形固定資産および有利子負債は、新研究開発施設(Yonex Performance Innovation Center)およびテニス新工場関連の設備投資と、それらに伴う借入により増加

● 資産

	2024年3月末	2024年12月末	増減額
現預金	23,549	28,459	+4,909
受取手形・売掛金	17,135	18,832	+1,697
棚卸資産	16,743	18,040	+1,297
有形固定資産	26,109	29,970	+3,860
無形固定資産	2,333	1,814	△519
その他	5,355	6,615	+1,260
資産合計	91,226	103,732	+12,505

● 負債・純資産

(百万円)

	2024年3月末	2024年12月末	増減額
買掛金・支払手形	6,390	7,528	+1,137
有利子負債	7,750	10,297	+2,546
その他	16,184	19,148	+2,963
負債合計	30,325	36,973	+6,647
自己資本	60,703	66,552	+5,849
非支配株主持分	197	206	+8
純資産合計	60,901	66,759	+5,858
負債純資産合計	91,226	103,732	+12,505

セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

セグメント		2025年3月期3Q累計 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象	
		売上高	営業利益		販売	製造
スポーツ用品 事業	日本	41,819	2,223	41.1%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックスジャパン(日本国内向け) 海外代理店向け* 	<ul style="list-style-type: none"> 新潟工場 東京工場 ヨネックス精機
	アジア	50,502	7,955	49.6%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス中国 ヨネックス台湾 	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス台湾 ヨネックスインド ヨネックステクニファイバー(タイ)
	北米	4,843	586	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス北米(アメリカ・カナダ) 	
	ヨーロッパ	4,097	404	4.0%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックスドイツ ヨネックスイギリス 	
スポーツ施設事業		495	70	0.5%	<ul style="list-style-type: none"> カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営 	

* 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

セグメント別売上高への為替影響

すべての通貨で円安が進行し、為替換算時の円安効果が連結での増収に寄与。北米セグメントは為替影響を除くと減収

● 為替レート

	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
24/3期 3Q累計 (1-9月)	19.60円	4.45円	138.10円	149.61円	171.95円
25/3期 3Q累計 (1-9月)	20.97円	4.71円	151.28円	164.39円	193.13円
前年同期比	+7.0%	+5.8%	+9.5%	+9.9%	+12.3%

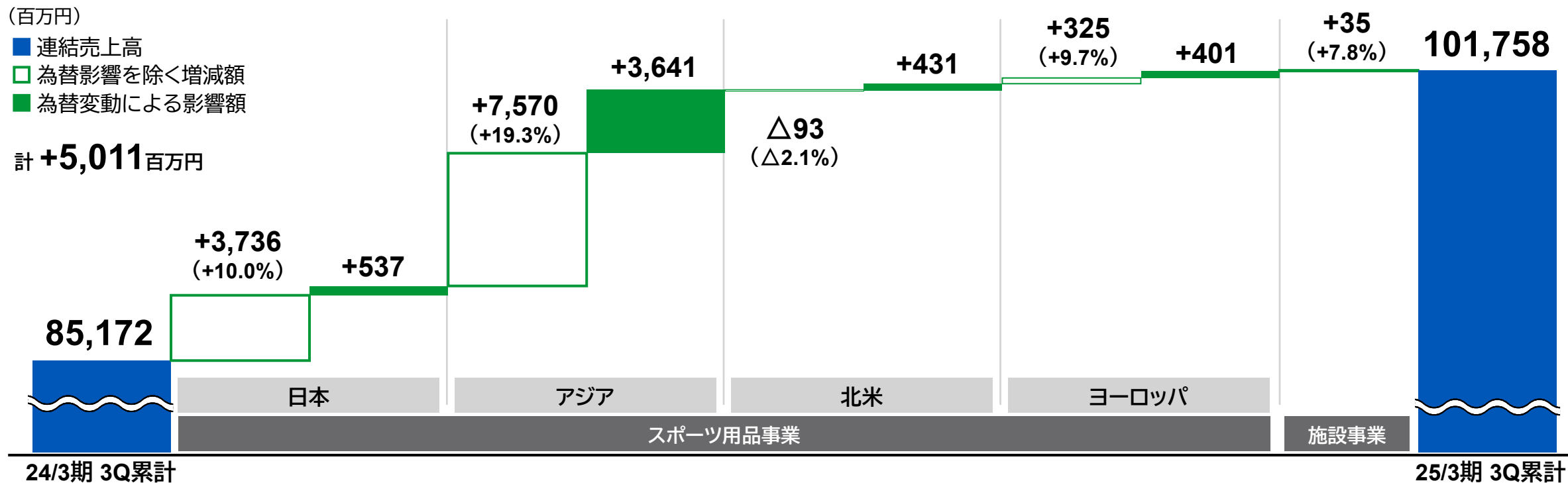
(百万円)

■ 連結売上高

□ 為替影響を除く増減額

■ 為替変動による影響額

計 **+5,011**百万円



売上高

41,819百万円

前年同期比
+11.4%

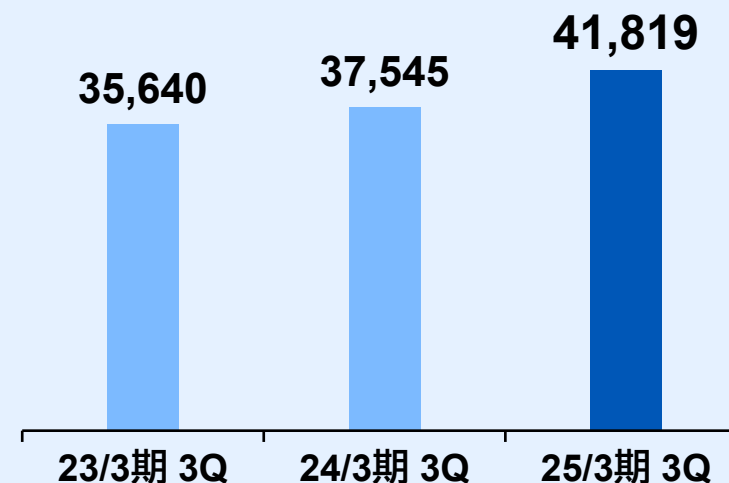
国内

バドミントンは引き続き需要が堅調に推移し増収。特にラケットは幅広い価格帯で販売が好調。テニスはラケットの販売は増加したものの、シューズの販売が減少しテニス全体では微減収。ゴルフは契約選手の活躍による当社クラブへの注目の高まりと4月発売の新製品発売効果で増収

海外代理店

バドミントン、テニスともに販売が増加し、円安による上押し効果もあり増収。バドミントンが盛んなアジア地域では国際大会での選手活躍を背景に市場が活性化し、需要が引き続き堅調に推移

(百万円)



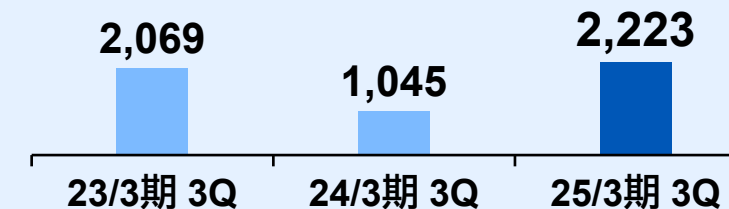
営業利益

2,223百万円

前年同期比
+112.7%

増収影響が大きく粗利増加。加えて、円安に伴うコスト増が影響し粗利率が低下した前年同期に比べ、今期は価格の見直しにより粗利率が改善。グローバルでのマーケティング強化による広告宣伝費の増加や、システム関連費用、人件費の増加により販管費は増加も、粗利の増加が上回り増益

(百万円)



スポーツ用品事業 アジア

売上高

50,502百万円

前年同期比
+28.5%

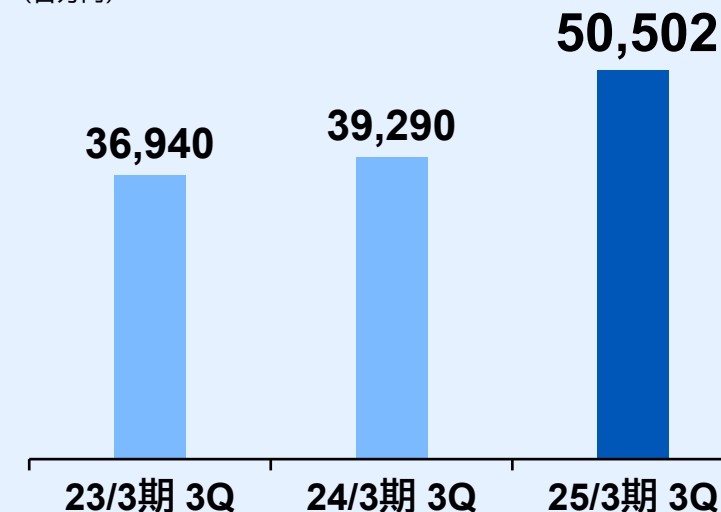
中国

バドミントン市場が引き続き堅調で、4~5月に開催された男女別国別対抗戦およびその後のパリで開催された国際大会における代表チームの活躍がさらに市場を活性化。その結果、バドミントン用品やウェア・バッグ等も販売が増加し増収

台湾

バドミントン市場が堅調に推移し、パリで開催された国際大会ではバドミントン種目で地元選手が2連覇を果たしたことも大きな話題に

(百万円)



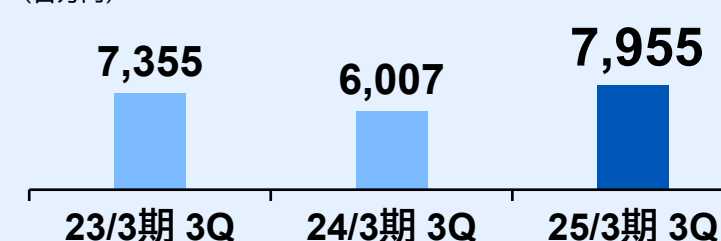
営業利益

7,955百万円

前年同期比
+32.4%

販管費は、国際大会での選手活躍の話題を活かしたマーケティング強化による広告宣伝費や人件費等が増加。しかし増収に伴う粗利の増加が上回り増益

(百万円)



● 為替レート

2023年1-9月 2024年1-9月 前年同期比
1RMB **19.60円** → **20.97円** **1.37円** 円安

2023年1-9月 2024年1-9月 前年同期比
1TWD **4.45円** → **4.71円** **0.26円** 円安

スポーツ用品事業 北米

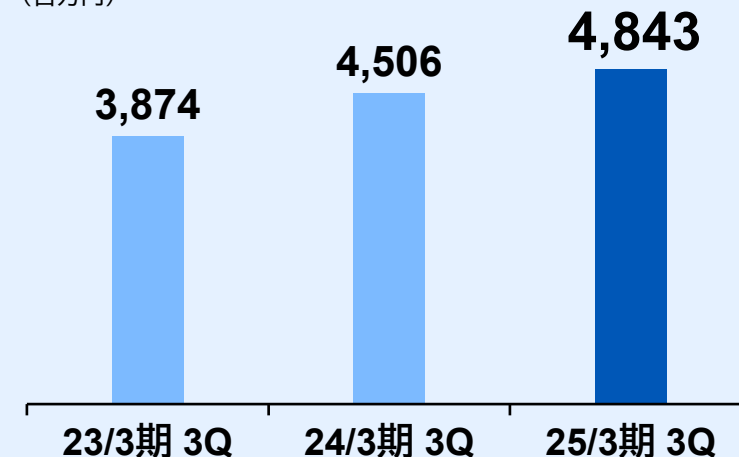
売上高

4,843百万円

前年同期比
+7.5%

テニスは市場在庫水準の改善に加え、新製品ラケットも好評となるなど当社製品への需要が高まり増収。バドミントンは、引き続き競技は活発に行われており、3Qは増収となったものの、上期減収の影響が大きく3Q累計では減収。全体ではテニス用品の増収と円安による上押し効果により増収

(百万円)



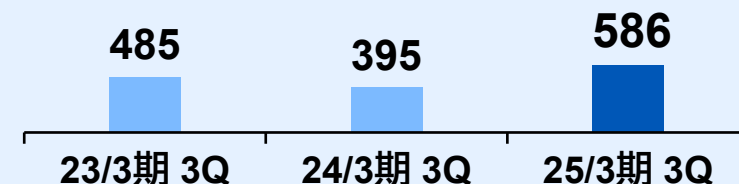
営業利益

586百万円

前年同期比
+48.4%

人件費等の販管費は増加したものの、粗利率の改善や増収に伴う粗利の増加が上回り増益

(百万円)



● 為替レート

	2023年1-9月	2024年1-9月	前年同期比
1USD	138.10円	151.28円	13.18円 円安

スポーツ用品事業 ヨーロッパ

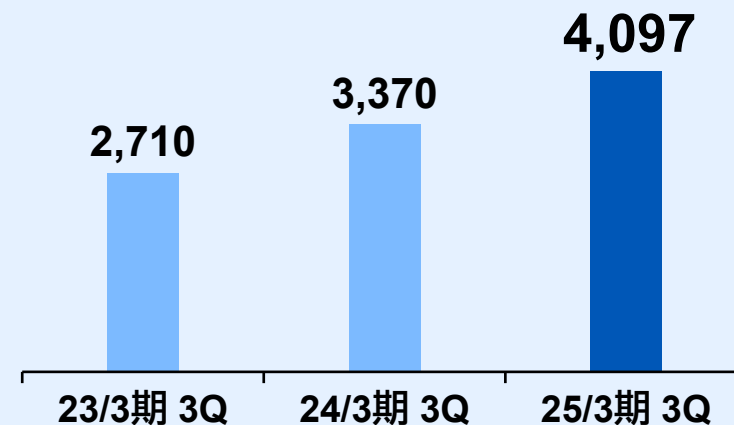
売上高

4,097百万円

前年同期比
+21.6%

ドイツ子会社、イギリス子会社ともにテニスにおいて引き続き当社製品への需要が高く増収。バドミントンは引き続きスポーツ活動が活発に行われ、ラケットを中心に販売が増加。全体ではテニスの増収が牽引したことに加え、円安による上押し効果もあり増収

(百万円)



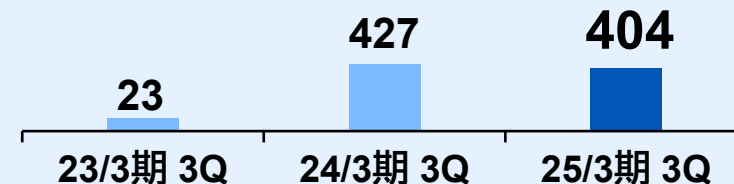
営業利益

404百万円

前年同期比
△5.3%

増収により粗利は増加した一方で、組織体制強化に伴う人件費やマーケティング強化に伴う広告宣伝費等の販管費の増加が上回り減益

(百万円)



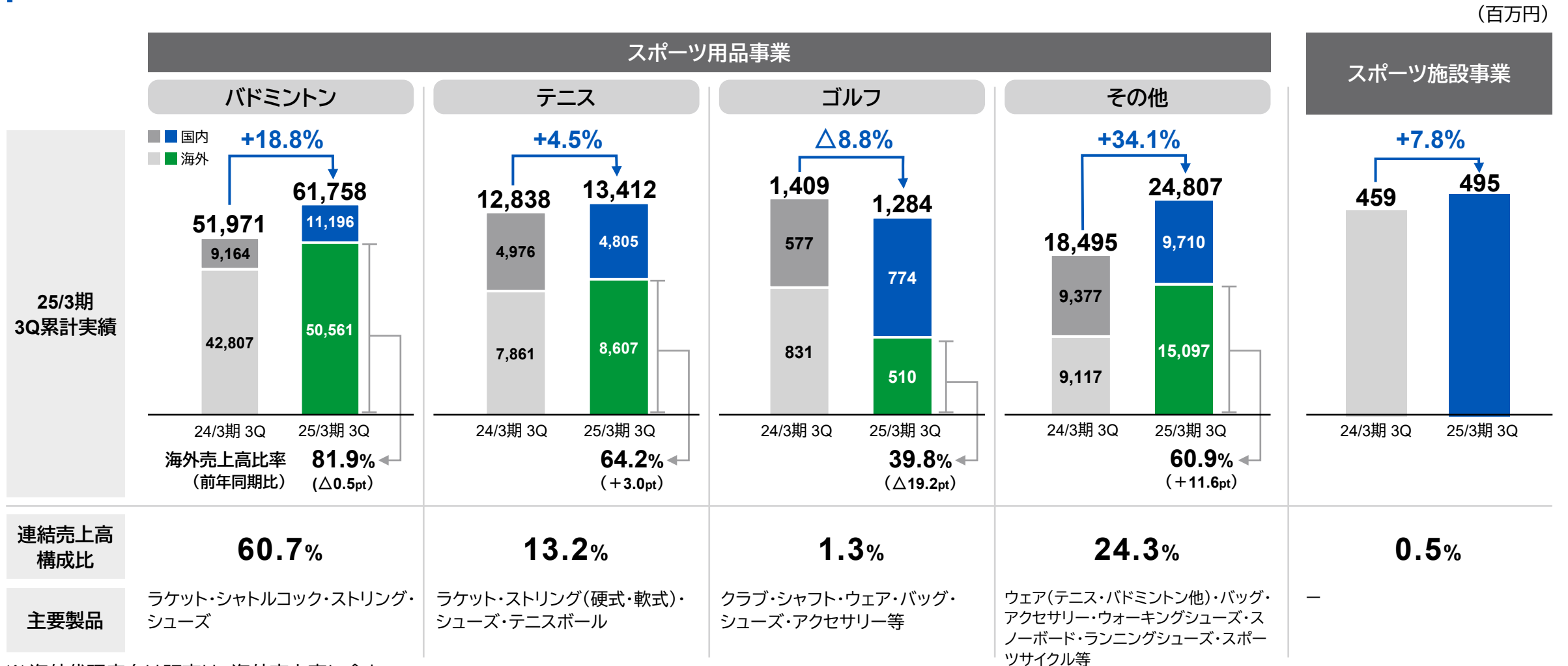
● 為替レート

	2023年1-9月	2024年1-9月	前年同期比
1EUR	149.61円	164.39円	14.78円 円安

	2023年1-9月	2024年1-9月	前年同期比
1GBP	171.95円	193.13円	21.18円 円安

— 種目別売上高

バドミントンは引き続き市場が活性化し、国内・海外ともに増収。テニスは北米や欧州を中心に海外で増収。その他は主に中国でウェア、バッグ、アクセサリー等の販売が増加



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

— 2025年3月期 業績予想

11月に修正した業績予想を据え置き。スポーツ市場の堅調な推移を見込む中、さらなるファン拡大に向けた投資を強化

● 予想の前提

- ・今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む
- ・国際大会での選手活躍を活かしてファンを増やすためのマーケティング投資を強化

● 為替レート (期中平均)

(円)

	24/3期 実績	25/3期 予想※
1RMB	19.81	21.0
1TWD	4.50	4.7
1USD	140.55	150
1EUR	151.98	165
1GBP	174.85	195

※11/8修正

(百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想 (11/8修正)	前年比増減率 (増減額)
売上高	116,442	134,000	+15.1% (+17,557)
営業利益	11,611	13,100	+12.8% (+1,488)
営業利益率	10.0%	9.8%	△0.2pt
経常利益	12,195	13,100	+7.4% (+904)
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,859	10,000	+12.9% (+1,140)

テニス:ラケット「EZONE(イーゾーン)」 新モデル発売

ヨネックスラケットの中でトップ選手やお客様から最も支持される「EZONE」シリーズの最新モデル(8代目)が2025年1月に発売



前モデルを上回るパワーと柔らかい打球感



ヨネックス独自形状「アイソメトリック※」が進化し、シリーズ最大のスイートエリア実現

アイソメトリック
※ヨネックス独自の四角いフレーム形状。円形ラケットよりも広いスイートエリアを実現。



世界で初めて先進カーボンと新素材「MINOLON※」を融合し、反発性と振動減衰性アップ

2G-Namd™
Speed



※興和(株)が開発。ミノムシの糸を使用し、柔らかさと強度を兼ね備えた新素材

新ターゲット層に向けた新カテゴリー追加

- 競技志向の低年齢ジュニア層・テニス愛好者層向けのスペック
- 最新のテクノロジーを搭載しつつ、手に取りやすい価格帯に

EZONE α

(イーゾーン アルファ)

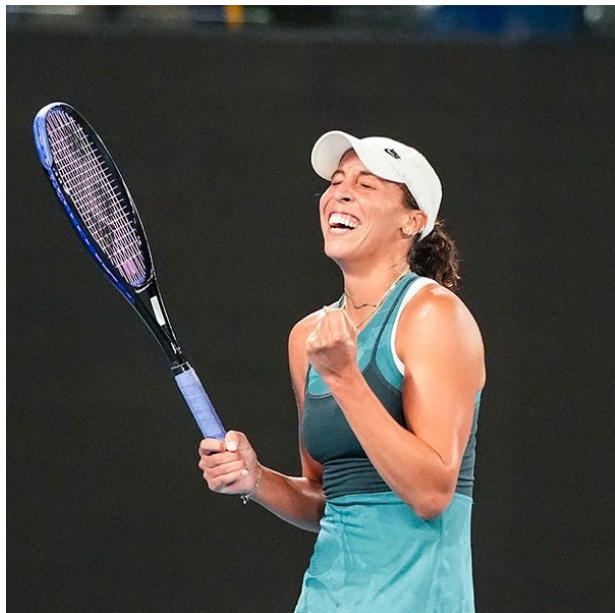
EZONE
α

EZONE
αL

EZONE
αSL

テニス:全豪オープン2025 チームヨネックスの活躍

新しくチームヨネックスの一員となったマディソン・キーズ選手とアルフィー・ヒューエット選手は、新「EZONE(イーゾーン)」を使用して栄冠を手に。チームヨネックスは19種目中12種目で優勝を飾る快挙



女子シングルス 優勝

マディソン・キーズ選手
(アメリカ)

今シーズンからヨネックスのラケットとストリングを使い始め、本大会では世界ランク1位、2位を倒して悲願のグランドスラム初タイトル獲得

男子ダブルス 優勝

ハリ・ヘリオヴァーラ選手
(フィンランド)



女子ダブルス 優勝

テイラー・タウンゼント選手
(アメリカ)



男子シングルス ベスト4

ベン・シェルトン選手
(アメリカ)



車いす男子シングルス・ダブルス 優勝

アルフィー・ヒューエット選手
(イギリス)

今シーズンからヨネックスラケットを使い始め、決勝では小田凱人選手とのヨネックス対決を制し、車いす男子ダブルスと併せて2冠



チームヨネックス12冠達成

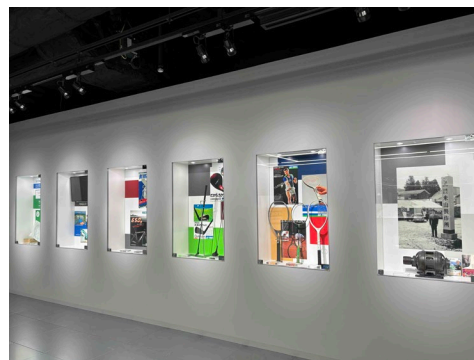
女子シングルス	Madison Keys(USA)	車いす男子ダブルス	Alfie Hewett(GBR)
男子ダブルス	Harri Heliövaara(FIN)	車いす女子ダブルス	Xiaohui Li(CHN)
女子ダブルス	Taylor Townsend(USA)	車いす男子ジュニアシングルス	Charlie Cooper(USA)
ミックスダブルス	Olivia Gadecki(AUS)	車いす男子ジュニアダブルス	Charlie Cooper(USA)
ジュニア男子ダブルス	Jan Kumstat(CZE)	車いす女子ジュニアシングルス	Vitoria Miranda(BRA)
車いす男子シングルス	Alfie Hewett(GBR)	車いす女子ジュニアダブルス	Vitoria Miranda(BRA)

— Yonex Osaka Showroom 2024年12月オープン

大阪・梅田に世界で3つ目のショールームをオープン。ヨネックスショールームとして最大の面積を誇り、当社が展開する全種目における、アパレル、シューズを含めた商品をフルラインナップで取り揃える



ショールームならではの体験



ブランド体験

ヨネックスの歴史やイノベーションの歴史、今グローバルで開催されている各種目のイベントに合わせた情報を発信

スポーツ体験

ゲーム感覚での新製品ラケットの試打や、シューズ・ゴルフクラブのフィッティングが可能



イノベーション体験

商品と併せて、各製品に搭載されているイノベーションを見て・触れて体験する展示・模型を設置

中国での情報発信

Yonex Shanghai Showroom(中国)との連携や、ソーシャルメディアでの情報発信を強化

- ▶ヨネックス中国ソーシャルメディアでの発信(左)
- ▶中国インフルエンサー訪問(右)





Appendix

— 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

● 2025年3月期3Q累計 連結決算の対象期間(会社別)

	2024年												2025年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

一 セグメント別売上高推移

	(百万円)				
	2021年3月期 3Q累計	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計
日本 (国内+海外代理店向け)	19,911	27,307	35,640	37,545	41,819
アジア (子会社)	12,488	22,177	36,940	39,290	50,502
北米 (子会社)	1,511	2,444	3,874	4,506	4,843
ヨーロッパ (子会社)	1,438	1,638	2,710	3,370	4,097
施設事業	365	407	466	459	495
連結売上高	35,715	53,975	79,632	85,172	101,758

日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

一 地域別(仕向地別)売上高推移

(百万円)

	2021年3月期 3Q累計	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計
日本	15,732	20,447	24,045	24,554	26,982
海外売上高	19,982	33,528	55,587	60,617	74,776
アジア地域	15,654	27,529	43,839	48,054	60,125
北米地域	1,511	2,444	3,874	4,506	4,843
ヨーロッパ地域	2,447	2,455	6,366	6,734	8,288
その他	370	1,099	1,506	1,323	1,518
合計	35,715	53,975	79,632	85,172	101,758
海外売上高比率	56.0%	62.1%	69.8%	71.1%	73.4%

日本 | スポーツ施設事業を含む日本事業
アジア地域 | 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他
北米地域 | アメリカ・カナダ

ヨーロッパ地域 | ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他
その他 | オーストラリア・中近東・中南米 他

*海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。